

1. 件名：京都大学複合原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日時：令和4年12月9日 13:30～14:45

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室
 蔦澤防災専門職、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

京都大学複合原子力科学研究所
 中央管理室副室長 他3名

5. 要旨

京都大学複合原子力科学研究所から、令和5年1月10日に予定されている原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
 - ・ 今年度訓練の目的・達成目標
 - ・ 主な検証項目
 - ・ 実施・評価体制
 - ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
 - ・ 訓練シナリオ
 - ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容
- 原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 去年と同様なシナリオ一部開示での訓練を検討すること。検討にあたっては、BDDBA対応機器の故障に対する対応について、プレイヤーが検討を行うようにすること。
- ・ エリアモニタの故障など、よりシナリオを多様化するための方策を検討すること。
- ・ Webexを使用した情報共有を検討すること。
- ・ 中期計画における目標を明確化すること。また、支援拠点の訓練について記載を検討すること。

京都大学複合原子力科学研究所から、本日の面談を踏まえ対応する旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と京都大学複合原子力科学研究所の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：令和4年度事業者防災訓練実施計画（案）
（京都大学複合原子力科学研究所）